



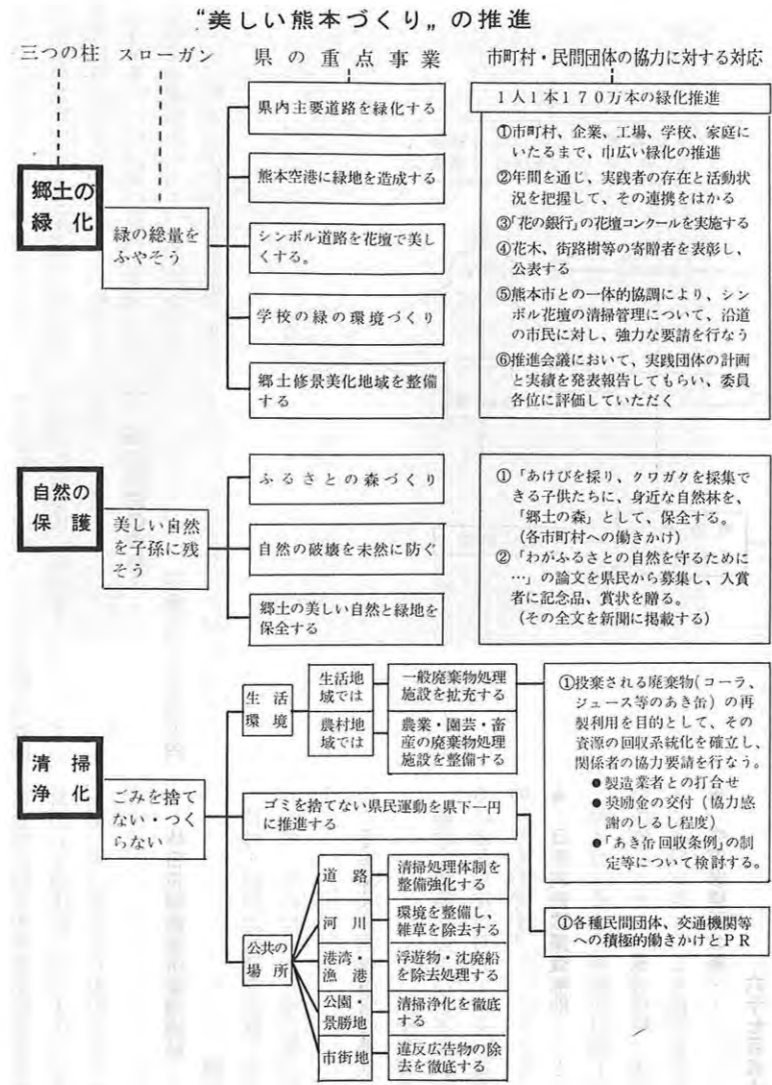
有志によるシンボル道路花壇除草作業

理に充分手を尽し、御興来海岸などの景観を保持するため、新たに樹木の植栽を行います。

★ 花の銀行……………二百三十万円
昨年度にはじまった花の銀行は、県民の共感を呼び、当初の予想を上回る四百

行に及びました。四十九年度は五十行を増加し、技術指導も行います。
★ 熊本空港緑地管理……………五十万円
クスやカシ等の広葉樹を植栽してきましたが、四十九年度は保育手入を行いました。
★ 美しい学園づくり……………八百五十万円
小・中学校の緑化補助と新設、移転した県立学校の緑化を実施します。
★ シンボル道路の美化……………二千二百二十二万円
熊本市内の市民会館から体育館までに花だんを設け、銀杏の並木の中に四季の花を植えて市街地の美化を行います。
★ 江津湖浚渫……………三千六百万円
江津湖には、都市汚水が流入してヘドロが堆積し、汚濁の原因となつています。県は昨年度より浚渫を計画し、土量四十二万立方メートル、護岸の補強延長千六百メートルに、総事業費四億七千五百万円を投じる予定です。
★ 市街地河川改修美化……………二億六千五百四十万円
中小河川の改修として坪井川に一億六千七百万円、浦川に一千万円、局部改良として水無川に六百八十万円を、都市小河川藻器堀川、健軍川、万石川に八千六百万円を計上しました。
★ 坪井川治水緑地……………二千万円
坪井川の市街地内の河巾拡巾が困難なため、上流の用地を確保し、洪水時には遊水させ、調整池としての機能を持た

せ、平常時には都市公園的な施設を設け、緑地と空間を供給するもので、四十九年度から五十ヘクタールに対し総事業費二十五億円を投じて着手します。
★ 市街地河川環境対策……………千四百八十六万円
河川雑草処理に八百万円、河川投棄物除去に二百五十万円、河川バトロールなどに七十六万円を計上しています。
★ 海岸環境整備事業……………四千五百万円
芦北海岸は、国民保養地の指定を受け、レクリエーション施設等を整備中ですが、既設の老朽化した護岸は、高潮、台風による被害の恐れがあるので、海岸環境保全とレクリエーション機能の増大を図るため、階段式護岸、遊歩道、植栽を四十九年度より新規に施行します。
★ 沈没船・浮遊物処理……………百七十六万円
漁港区域内の沈没船は昨年末までのお百六十一隻があり、四十九年度は三十二隻を処理します。また、県管理港内にあるピニールなどの清掃も併せて実施します。
★ 美しい熊本づくり総合推進
① 広報事業……………六十万円
② 推進大会など……………四百十五万円
③ 市町村美化推進事業補助……………千四百三十五万円
④ 美化運動推進費補助……………二百九十七万円



「自然の保護」、「郷土の緑化」、「郷土の清掃浄化」の三本柱を樹ては、じまった美しい熊本づくり運動は、三年目を迎え、県下の民間諸団体をも含めた推進会議を母体に県民の総意を反映させながら、各市町村、団体や県民各位のご活躍とご協力により、その成果を、県下に現わして参りました。
全国的に自然破壊が進行している中で、比較的豊かな自然が残されている本県は、全国に先駆けて自然環境保全条例を制定施行し、自然の保護に努めており、すし、年次計画のもとに、観光ルートや国県道、空港などの緑化を進め、特に熊本市内の市民会館から体育館までをシンボル道路として街路樹や花だんを整備し、清掃浄化の面では、廃棄物処理施設の充実、清掃車による路面清掃、河川の清掃、海岸線の浮遊物の除去、沈没船の処理などを行って参りました。四十九年度は、この実績を踏えて更に次の事業を行って参ります。
★ 自然環境保全地域等の指定……………五百二十万円
四十九年度は「自然環境保全地域」十ヶ所、「緑地環境保全地域」五ヶ所、「郷土修景美化地域」五ヶ所を指定する予定で、
★ 自然環境保全協定の締結……………三十二万円
自然環境保全地域などにおける開発行為については、自然環境保全の面から充分チェックする必要がある、関係市町村、官庁の立合いのうえ、事業者と協定を結び、自然環境の保全に努めます。
★ 自然環境保全指導員の設置……………百三十九万円
自然環境保全地域は二地域及び県立自然公園を巡回し、自然環境の保全と適正な利用を指導していただくため、民間人を委嘱するもので、昨年度よりも二十人増員し四十人にします。
★ 松くい虫防除措置……………六千九百二十四万円
昨年に引き続き地域を広く積極的に実施しますが、四十九年度は新しい施策として本県の重要な観光道路である国道二二六号線(このうち大矢野―本渡市間)の沿線については景観維持のため、天草五橋周辺を重点に県直営で駆除を行い沿線の美化に努めたいと考えております。
★ 沿線緑化の推進……………七百九十三万円
県では、主要国道、阿蘇高原観光ルート、天草パールラインなどにムクゲ、夾竹桃などその地域に応じた樹木を選択し、緑化を進めていますが、四十九年度は、その中で未施行部分を埋め、完成を図るとともに、新たに国道二一八号線などの緑化を行います。また、植栽後の管